

完全非公開型 医療介護専用SNS

「メディカルケアステーション(MCS)」 で実現する多職種ネットワーク

2018年9月作成

エンブレース株式会社



メディカルケアステーション(MCS)は

医療介護専用の完全非公開型SNSです

MedicalCare STATION

医療・介護 × ソーシャル × クラウド



MCSの特長

MedicalCare STATION

1 新しいコミュニケーションの場を提供

2 医療介護ならではのセキュリティ

3 無料

患者ごとに、画像や動画付きで連携できる

患者単位のグループ

MedicalCare STATION

医療介護スタッフ専用タイムライン

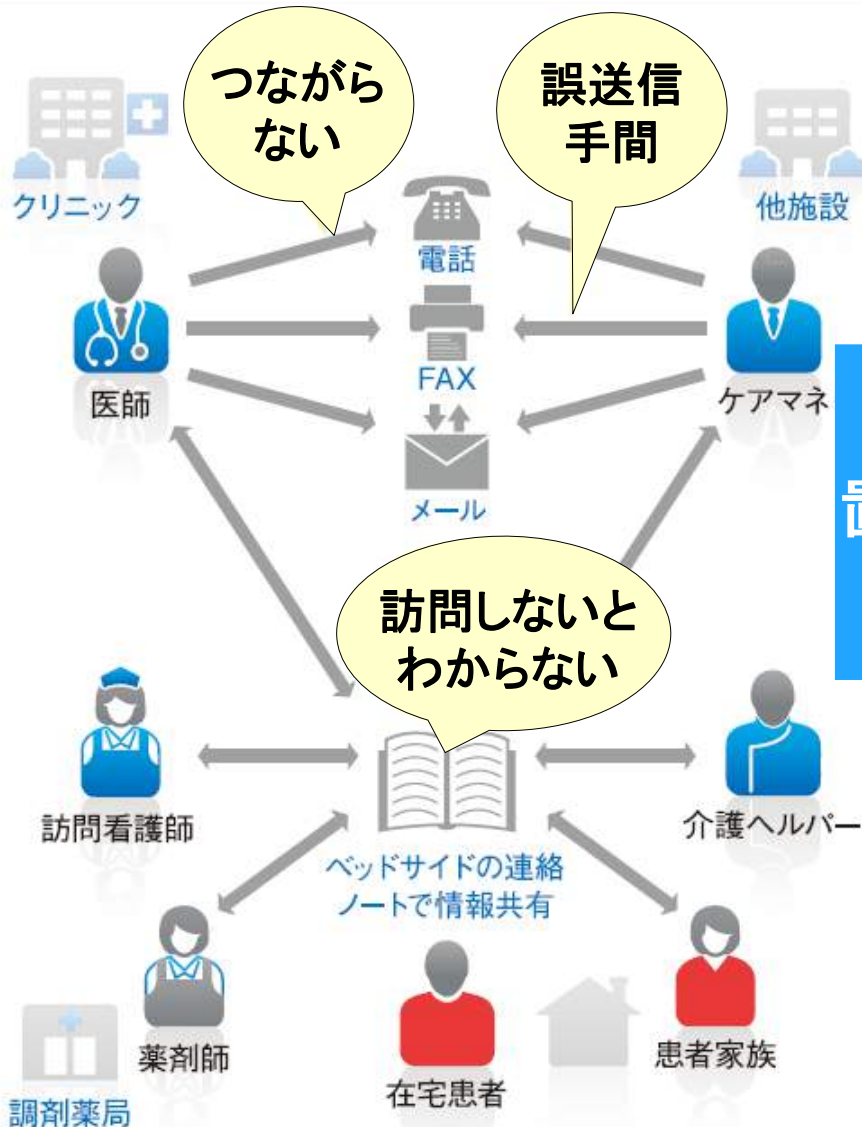
切替え

患者家族も参加するタイムライン



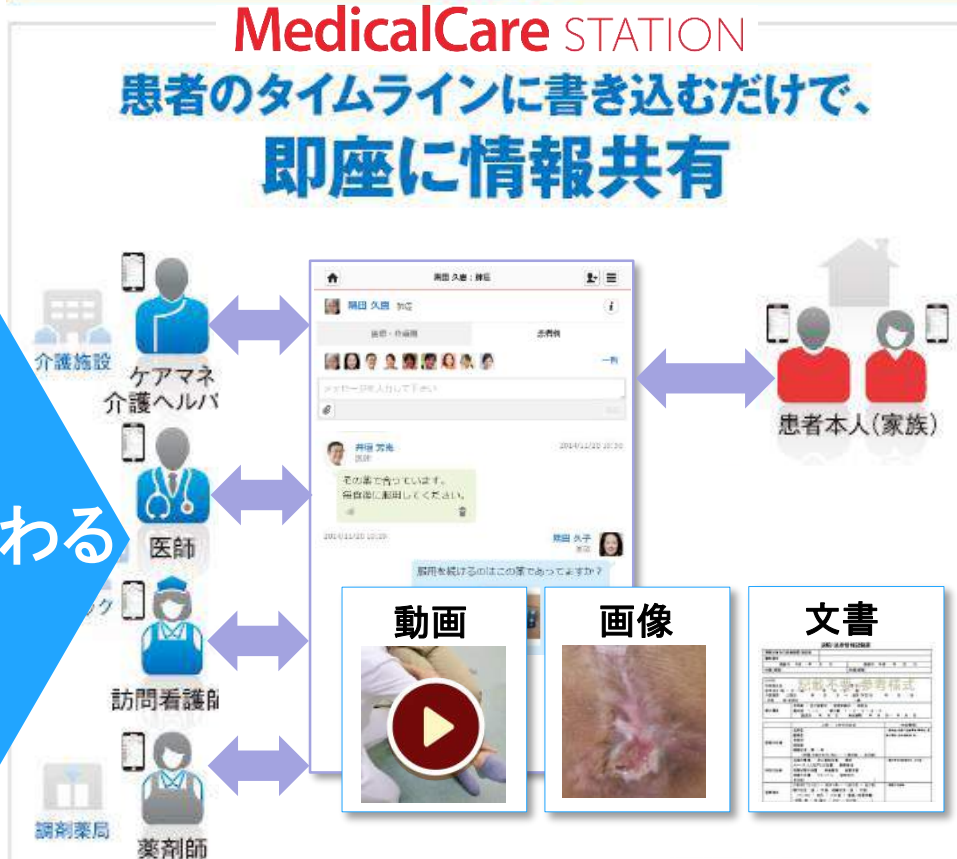
MCSで、電話・FAX・メールが減ります

Before



置き換わる

After



- ・患者単位の多職種チームで連携できる
- ・いつでもどこでも空いた時間に連携できる
- ・履歴も患者単位で簡単に読み返しできる

MCSの位置づけ

医療スタッフ中心

診療情報

文書系情報

コミュニケーション情報
MedicalCare STATION

医療・介護・多職種スタッフ

地域包括ケアのシステム
(水平方向・面の多職種連携)

長島公之モデル

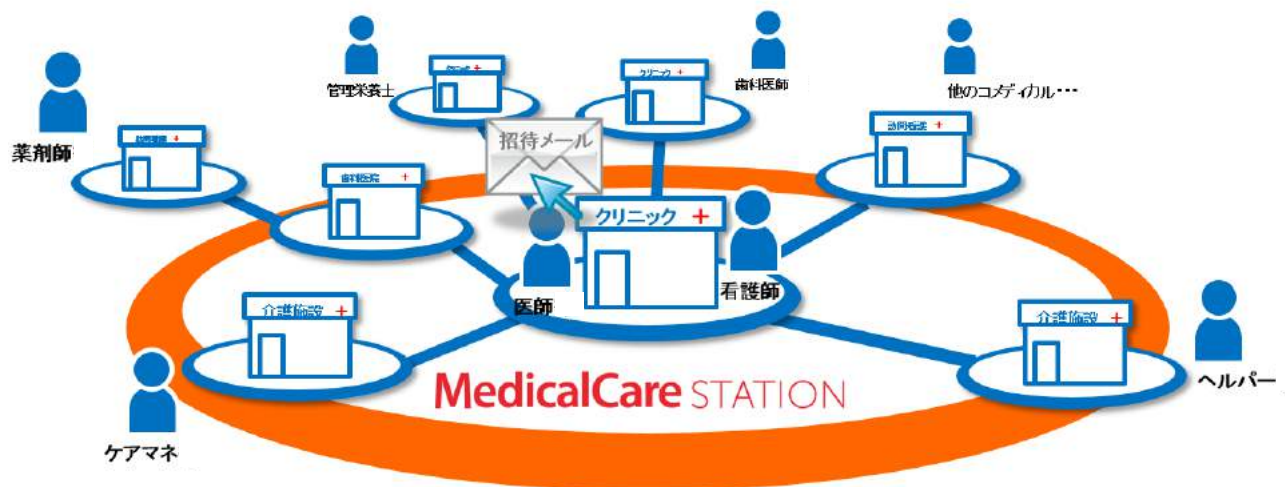
地域医療構想のシステム
(垂直方向の医療連携)

長島整形外科
長島公之院長
(栃木県医師会常任理事)
により提唱

1人の医師が
2名の患者グループを作成し
連携スタート

現在、豊島区内の300以上の
医療介護施設が利用する
多職種連携ネットワークに成長

アクティブユーザー率 = 73%
(2017年7月のMAU実績)



医師

「1日の電話の着信履歴が、
55件から5件に減った」

「変化のある患者に集中して
適切な連携が取れる」

看護師

「申し送りの時間や会議も短くなり、
残業が減った」

「患者とゆっくり向き合える
時間が増えた」

ケアマネ

「医師などとの連絡が容易になった」

「ヘルパーが入る予定なども
簡単に共有できた」

患者・家族

「先生やスタッフへの信頼が増した」

「訪問に来たスタッフがみな、
私の状況をわかってくれていて安心」

独居在宅患者T・Kさんのタイムライン

The screenshot shows a vertical timeline of messages and photos. A vertical arrow on the right side of the messages is numbered 1, 2, 3, and 4 from bottom to top, corresponding to the four main points of the diagram on the right.

- 1**: Message from a home care worker (訪問介護 介護福祉士) dated 2/15 17:20. The text mentions a hearing aid check and a doctor's visit. Below the message is a photo of a tube of medicine with the caption "処方された薬" (Prescribed medicine).
- 2**: Message from a home care worker (通所介護 介護福祉士) dated 2/16 12:25. The text describes the patient's use of services and mentions a skin condition. Below the message is a photo of the patient's arm with a skin lesion, with the caption "患者が薬が効いたと言っている太もも" (Thigh where the patient says the medicine is working).
- 3**: Message from a care worker (包括 保健師) dated 2/16 14:08. The text discusses the frequency of helpline use and the patient's response to treatment.
- 4**: Message from a care worker (通所介護 介護福祉士) dated 2/16 17:10. The text discusses the patient's response to treatment and their satisfaction.

MCSによる連携効果

患者の顔、変化が見える

スタッフ全員で
患者を時系列に把握できる

医療介護の垣根がなくなり、
意識が変わった、
モチベーションがあがった

- 1 連携効果が見込める患者から登録する
- 2 電話などのやり取りの多い多職種から招待する
- 3 まずは「了解」ボタンを押すところからはじめる
- 4 電話（緊急時）や対面（デリケートな内容）も併用
- 5 利用頻度などを決めている地域もあります

導入のコツ 2 困っているところから始めましょう

「緊急じゃないし、先生に電話しにくいなあ」

「ケアマネの〇〇さん、いつも電話つかまらない」

「理学療法士の〇〇さん、しょっちゅう電話かかってくる」

「訪看からくるFAX、管理に困っちゃう」

「会議の招集と議事録の共有がめんどろなあ」

解決

MedicalCare STATION

どれか、1つの連携からでもMCSを始めましょう

MCSの先進事例、ノウハウ、セキュリティや運用の情報を全国の医師会、自治体、医療介護施設向けにご提供しています

<http://www.ikairen.net/>

全国医療介護連携ネットワーク研究会

▶ トップ

▶ ビジョン

▶ メンバー

▶ 活動報告

▶ お問い合わせ

参加メンバー

理事長

長島 公之

栃木県 長島整形外科 院長 (栃木県医師会常任理事)

本研究会では、これまでの医療分野における連携に加えて、医療と介護の分野の連携を含む地域包括ケアについて、持続的でオープンなシステムの在り方を探求していきます。

理事

土屋 淳郎

東京都豊島区 土屋医院 院長

地域包括ケアシステムの構築にむけた医療介護連携に加えて、患者・家族・地域・行政などとも連携し、さらに既存のシステムとも融合可能な、新しい時代の連携ネットワークがもうすぐ実現できるところまで来ています。

理事

山下 巖

東京都豊島区 山下診療所 院長

医療介護の分野に特化したSNSであるメディカルケアステーションの出現で、医科・歯科・薬科・看護・介護・SWなどの連携の形が変わりつつあります。さまざまなご縁で全国のメンバーとの出会

医師会、自治体を対象にMCSセミナーを開催



お問い合わせ

TEL : 0800-123-6611

E-Mail : support@embrace.co.jp

エンブレース株式会社

